



答志島 和具の神祭

3月4日、答志町和具で豊漁と家内安全を願う八幡神社の祭り、通称「神祭」が行われました。

お的と呼ばれる弓矢の的は、竹を編み、紙を張った上に、海藻の「ふのり」を煮詰めた糊と消炭を混ぜて作った墨を乗せたものです。

弓が放たれると一斉に、その墨を男たちが奪い合い、手に入れた墨で家や納屋、船に㊦（マルハチ）を描くことで、一年間の大漁祈願や魔除け、災い除けなどを願います。



フラダンス・フェスティバル初開催

3月9日～11日の3日間、鳥羽市民文化会館・大ホールをメイン会場に鳥羽フラ2018が開催されました。

県内外からたくさんのかたが参加し、3月10日には、鳥羽のフラ・ハウラ・オナーモミ・ピリアロハのみなさんが合同発表会（ホイケ）でダンスを披露し、観客席に降りて会場全体でパフォーマンスを行うなど、観客を魅了しました。

そのほか、本場ハワイからの豪華ゲストによるダンスも披露され、会場ではフラ・ハワイアングッズや鳥羽の名産品が販売されるなどし、とても賑わいました。



チームで力を合わせて

3月4日、鳥羽中央公園運動施設で第18回鳥羽子どもフェスティバルが開催されました。

今年は209人の子どもたちが参加し、多目的グラウンドではグラウンドゴルフとニュースポーツで汗を流し、市民体育館ではダンスと伊賀フットボールクラブくノーのみなさんと一緒にサッカーをプレイして盛り上がりました。

昼食時には豚汁がふるまわれ、午後からはじゃんけん大会などが行われ、子どもたちはさまざまなスポーツを通じて楽しく交流しました。



春の訪れを告げるワカメ漁

塩ワカメづくりの最盛期を迎えた答志島和具浦漁港では、ワカメを茹でる釜が並び、ワカメ養殖漁業者のみなさんが作業を行っています。

湯煙が立つ釜でワカメを湯がくと、鮮やかな緑色に変化します。3分ほど茹でた後、海水で冷まして取り出し、その後塩漬けにして出荷されます。

港内にはワカメの香りが広がります。この香りは環境省のかおり風景100選に認定されています。